

鳥取県の沿岸漁業の方向性に関する一考察

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松浦, 勉 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014350

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



鳥取県の沿岸漁業の方向性に関する一考察

松浦 勉

最近、栽培漁業や資源管理型漁業の導入、実践が検討されている。この段階で、これを受ける側の沿岸漁業の実態分析やその展開方向について、小型底びき網漁業（小底）を中心に検討を行った。小底は、資源の減少、魚価の低迷、就業者の余暇の確保難などの問題を抱えている。その漁業管理方策としては、網目の規制強化、禁漁区の拡大、着業隻数の削減、禁漁期の延長などが挙げられる。種苗添加も必要であろう。さらに筆者は、今後の資源培養管理による資源回復を前提に、最大可能漁獲量、収容可能な経営体数についても試算した。

栽培技研, 18(2), 129-144 (1989)